

◆ きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト

ページ数	和 訳
019	世界遺産の基礎知識 「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」は1972年にユネスコによって採択された。ユネスコは、この条約を通して世界中の文化遺産と自然遺産の個性を明らかにし、保護し、そして保全を推し進めようとしている。世界遺産は顕著な普遍的価値をもっている。これは、世界遺産が 国や人種、信仰、文化や歴史に関わりなく 世界中の人々に属するものであることを意味している。
028	知床 知床半島では海と陸との間の食物連鎖が見られる。知床半島の貴重な自然環境を護るため、英国の市民によってナショナル・トラスト運動をモデルにした 保護活動が行われてい
031	白神山地 白神山地はおよそ200万年前に、地殻変動によって海底が隆起して形成された。豊かなスナノ原生林は、固有種を含む 動植物の貴重な生息地 となっている。
033	平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－ 平泉は奥州藤原氏が、寺院と庭園によって 極楽浄土を現世に生み出したいという願い を込めて、浄土思想に基づき築き上げた理想郷である。中尊寺の金色堂は、金と螺鈿細工を惜しげなく用いて、極楽浄土を表現している。
034	日光の社寺 2つの神社と1つの寺院が登録されている日光山は、古くから 神道と仏教が融合した聖なる地域 であった。権現造りの豪華な東照宮は、偉大な将軍の徳川家康を祀っている。
037	富岡製糸場と絹産業遺産群 富岡製糸場は1872年に明治政府によって設立された官営工場である。フランスの技術を導入したことで、大量生産だけでなく、生糸の品質の面でも改善がもたらされた。 日本における産業近代化 の成功例である。
039	小笠原諸島 小笠原諸島は東京の都市部から南に約1,000km離れた太平洋上に位置する。 大陸と陸地でつながったことがなく 、動植物が独自の自然環境の中で生き延びるためにそれぞれに進化を遂げてきた、独自の生態系をみることができる。
040	ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献 7カ国にあるル・コルビュジエが設計した17件の建造物が登録され、そこには彼の「 無限成長美術館 」の概念を反映した日本の国立西洋美術館も含まれている。
043	富士山－信仰の対象と芸術の源泉 日本で最も高い山である富士山は、日本を象徴する山となってきた。富士山は古来から宗教的信仰のシンボルとして、 日本の文化に大きな影響を及ぼしてきている 。
044	白川郷・五箇山の合掌造り集落 白川郷と五箇山は日本で最も雪深い地域のひとつに位置している。農家の特徴的な合掌造りの形状は、 過酷な自然環境に適応するためのもの である。伝統的な大家族制と伝統産業のための広い作業空間の必要性から、それぞれの家屋はとりわけ大きい。
047	古都京都の文化財 過去1,200年にわたり日本の政治と文化の中心であった京都には、 各時代の日本文化を代表する 数多くの寺院や神社が、庭園と共に残されている。京都は過去に、しばしば動乱や火事に見舞われてきたが、この街は何度も何度も再建されており、そうして特有の文化遺産を保存している。

049	古都奈良の文化財
	かつての中国の唐の都を手本として8世紀に築かれた平城京で、国際的な天平文化が繁栄した。寺院と神社は 高度な木造建築技術によって建てられて おり、中国と朝鮮半島の影響を示唆している。
051	法隆寺地域の仏教建造物群
	法隆寺と法起寺は、聖徳太子として知られる厩戸王と深い結びつきをもつ。これらの寺院の仏教建造物群は、 世界で最も古い現存する木造建築 であり、7世紀から8世紀の間に建
052	紀伊山地の霊場と参詣道
	資産は紀伊山地の3つの聖地とこれらをつなぐ 巡礼路 で構成され、神道と仏教の宗教的融合を示している。建造物は自然環境の中によく調和しているため、日本で初めて文化的景観の価値が認められた。
055	姫路城
	姫路城は 日本の木造城郭を代表する 建造物である。その美しい白漆喰の外壁から、白鷺城とも呼ばれる。その歴史を通じてたびたび修理と増築がなされており、昭和と平成の時代にも大規模な修理が行われた。
057	石見銀山遺跡とその文化的景観
	16世紀から17世紀にかけて、石見銀山は 世界屈指の銀の産出地 であった。採鉱地域近くには、銀鉱石を運ぶための港や輸送路が整備され、文化的景観を形成した。
059	巖島神社
	神社は瀬戸内海の水面上に立つ。神社、海、そして背後の弥山がひとつになって構成される景観は、 日本人の宗教と美的感覚を反映している 。
060	広島平和記念碑（原爆ドーム）
	1945年8月6日、 人類史上初めての原爆が広島に投下された 。完全破壊を免れた唯一の建造物である原爆ドームは、悲劇の日を永久に記憶するものとしてそのままの姿で保存されている。これは未来の世代に戦争の悲惨さを永遠に示すことを目的とした「負の遺産」のひとつである。
063	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業
	この遺産は、江戸時代末期から明治時代にかけて、 日本が約50年で近代化を達成した ことを証明している。九州を中心とした8地域にある23資産は、シリアル・ノミネーションで登録されている。
065	屋久島
	日本の北部と南部の両方の気候をもつ屋久島は、植物の垂直分布をみせる。すなわち、 標高が高くなるのに応じて異なる種類の植物が生育している 。そこでは「屋久杉」と呼ばれる樹齢1,000年を超える固有のスギが生育している。
067	琉球王国のグスク及び関連遺産群
	沖縄の各地に点在していた琉球の農耕社会を指すグスクは、12世紀から17世紀の間に小王国を支配した 按司と呼ばれる豪族によって立てられた城 である。信仰の対象であった石造りの建造物によって、琉球王国の歴史は後世に伝えられている。
074	ペルセポリス
	ペルセポリスはアケメネス朝におけるかつてのペルシアの首都の広大な遺跡である。すべての建造物はペルシア建築に特徴的な直角的なつくりの、 正方形の外形 をしている。これらの建造物では数多くの繊細なレリーフを今でも見ることができる。

079	アテネのアクロポリス
	アテネのアクロポリスは古代ギリシャにおける古典期の精神と文明のシンボルである。ペルシア戦争で大きな被害を受けた後、アクロポリスは単なる岩の丘から ギリシャの文化と芸術の類まれな記念碑 へと変化した。
082	ローマの歴史地区と教皇領、サン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ聖堂
	ローマは初め 共和政ローマの中心 であり、それからローマ帝国の主都となった。4世紀にはキリスト教世界の中心地となった。ローマにはコロッセウムのような多くの主要な古代の建造物やローマ教皇領の建造物が残り輝き続けている。
085	万里の長城
	紀元前8世紀から紀元前5世紀の間、最初は 北方の蛮族 の侵入を防ぐために万里の長城が建造された。3世紀に、既存の壁を修繕し、新たな建造物を加えてひとつなぎにしたのが、秦の始皇帝である。
087	アンコールの遺跡群
	アンコールは、ヒンドゥー教寺院のアンコール・ワットや城塞都市アンコール・トムといった、9世紀から15世紀までのクメール王朝の都の遺構を含んでいる。内戦のため、アンコールは 危機遺産リスト に登録されていた。
091	シルク・ロード：長安から天山回廊の交易網
	この資産は、洛陽と長安から中央アジアを通りカザフスタンとキルギスに至る、シルク・ロード網の5,000kmの区間である。東西の商人たちがこの道を旅したことで宗教的な信仰や科学的な知識、芸術を含む 文化的交流を促した 。
097	イスタンブルの歴史地区
	コンスタンティノープルとして知られたイスタンブルは、 アジアとヨーロッパの境界 に位置する歴史的都市である。元々はキリスト教の大聖堂だったアヤ・ソフィアは、15世紀にオスマン帝国によってイスラム教のモスクへと改修された。
099	タージ・マハル
	美しい白大理石の霊廟タージ・マハルは、愛妃のムムターズ・マハルを偲んだムガル帝国皇帝シャー・ジャハーンによって建造された。タージ・マハルの平面図は 構成において完璧な均整 を示しており、インドのイスラム建築の最も偉大な達成だとみなされている。
103	パリのセーヌ河岸
	パリは 2,000年以上に渡る 歴史とともにある都市である。セーヌ河の右岸は歴史的に政治経済の中核であり、一方の左岸では科学と文化が花開いた。
107	グラナダのアルハンブラ宮殿、ヘネラリーフェ離宮、アルバイシン地区
	グラナダ王国はイベリア半島 最後のイスラム王朝 であった。キリスト教徒の征服にグラナダが陥落し、キリスト教による統治が始まると多くのイスラム建造物は破壊された。しかし、19世紀にイスラム文化再評価の気運が高まると、アルハンブラ宮殿は修復された。
111	フィレンツェの歴史地区
	ルネサンスを象徴する都市 であるフィレンツェは14世紀から16世紀にかけて、メディチ家時代の初期に繁栄した。サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂のように、とりわけこの街では並外れた芸術活動が見られる。
117	マチュ・ピチュ
	マチュ・ピチュは15世紀にアンデス山脈に栄えたインカ帝国の遺跡である。この顕著な宗教的、天体的、農業的中心地を構成する多くの建造物は、急峻な山の尾根に置かれている。 際立った周囲の自然環境 のため、複合遺産として登録されている。

121	北京と瀋陽の故宮
	北京と瀋陽の故宮は、明と清の時代に皇帝の居城であった。このすぐれた建築体系は、清の歴史と満州族の文化的伝統についての重要な歴史的証明となるものである。
127	ヴェルサイユ宮殿と庭園
	ヴェルサイユ宮殿は、ルイ14世からルイ16世の時代におけるフランス国王の主要な住居であった。フランス・バロック建築の傑作とみなされており、フランス絶対王政を象徴する豪華で巨大な建物である。
131	ウェストミンスター宮殿、ウェストミンスター・アビーとセント・マーガレット教会
	ウェストミンスター地区はロンドンの中央、テムズ川沿いに位置している。ここには、英国王室の歴史と関わりの深い建造物が多くある。ウェストミンスター宮殿はピューリタン革命が始まった場所として知られている。
132	自由の女神像
	自由の女神像はアメリカの自由と民衆主義のシンボルである。像は合衆国の独立100周年を祝ってフランス人民から贈られた。女神は左手に独立宣言書を持ち、右手のトーチは希望を表している。
140	ワルシャワの歴史地区
	第二次世界大戦中、ワルシャワの歴史中心地区の85%以上がナチスドイツ軍によって破壊された。戦後、ワルシャワの市民は街の再建を熱望し、中世から19世紀に至るまでの多くの建造物が修復された。
151	エルサレムの旧市街とその城壁群
	エルサレムはユダヤ教、キリスト教そしてイスラム教という、3つの宗教における重要な聖地である。イスラエルとパレスチナの紛争だけではなく、都市開発や観光による損害のために1982年以来危機遺産リストに記載されている。
159	ハワイ火山国立公園
	ハワイは、火山活動によって形成された独特な風景を見せている。ハワイ火山国立公園には2つの有名な火山がある。マウナ・ロア山は世界で最大の活火山であり、キラウエア山は最も噴火の盛んな火山のひとつである。この地は火山活動を通じた島形成についての優れた例を示すものである。
160	ロス・グラシアレス国立公園
	ロス・グラシアレス国立公園は2つの自然地帯によって構成されている。ひとつは巨大氷河地帯で、もうひとつは多種多様な野生生物の生息地となっている森林や草原地帯である。ウプサラは最大の氷河であり、ペリト・モレノは最も動きの活発な氷河である。ロス・グラシアレスという名前は数多くの氷河があることからきている。